典礼のしおり

O Domingo　N° 07
ANIB 発行　09―02―2025

年間第五主日

私達は聖体祭儀を祝い、命のみ言葉を聴き、神の憐れみと聖性を体験するためにここに集りました。この日曜日に、私たちは単なる儀式への参加を超えて、もっと深いところに網を投げるよう挑戦を受けています。イエスは、ご自分が私たちに残した使命を遂行するよう私たちを招いています。勇気をもって前進するようにとの、招きに協力しましょう。

入祭唱

身を低くして伏し拝もう、わたしたちを造られた神の前に。神はわたしたちの神。

栄光の賛歌

集会祈願

信じる者の力である神よ、尽きることのないいつくしみのうちにわたしたちを守ってください。あなたの恵みを唯一の希望とするこの家族が、いつもあなたの力によって強められますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

※　朗読の解説

神のみ言葉を受け入れましょう。み言葉は信仰への答えを引き起します。ここにいます。私をお遣わしください。み言葉は神の恩寵のうちに生きる力、福音を告知する使命に恐れなく 突き進んでゆく勇気を与えてくださいます。

イザヤの預言（イザヤ 6・1―2a、3―8）

ウジヤ王が死んだ年のことである。
わたしは、高く天にある御座に主が座しておられるのを見た。衣の裾は神殿いっぱいに広がっていた。上の方にはセラフィムがい[た]。彼らは互いに呼び交わし、唱えた。「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の栄光は、地をすべて覆う。」　この呼び交わす声によって、神殿の入り口の敷居は揺れ動き、神殿は煙に満たされた。わたしは言った。
「災いだ。わたしは滅ぼされる。わたしは汚れた 唇の者。汚れた 唇の民の中に住む者。しかも、わたしの目は、王なる万軍の主を仰ぎ見た。」

するとセラフィムのひとりが、わたしのところに飛んで来た。その手には祭壇から火鋏で取った炭火があった。彼はわたしの口に火を触れさせて言った。
「見よ、これがたの 唇 に触れたので
あなたの咎は取り去られ、罪は赦された。」
そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」
わたしは言った。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」

答唱詩編　〇典　134〇1　〇2　〇3
（詩編138・1＋2ab、4＋5＋7d、8）
〇答・主をたたえよう。
主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
全　主をたたえよう。
　主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
神よ、わたしは 心 を尽くしてあなたに感謝し、
　神の使いの前であなたをたたえる。
あなたの神殿に向かってひれ伏し、
　いつくしみとまことのゆえにあなたに感謝を捧げる。
全　主をたたえよう。
　主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
神よ、国々の王はあなたのことばを聞き、
あなたをたたえる。彼らはあなたのわざを喜びうたう。
「神の栄光は偉大。」　神は右の手でわたしを救われる。
全　主をたたえよう。
　主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
神はわたしに約束されたことを、
　すべて成し遂げられる。
神よ、あなたのいつくしみは永遠。
　造られたすべてのものを　見捨てないでください。
全　主をたたえよう。
　主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。

使徒パウロのコリントの教会への手紙
（一コリント15・1―11、または15・3―8、11）
〔兄弟たち、〕
《わたしがあなたがたに告げ知らせた福音を、ここでもう一度知らせます。これは、あなたがたが受け入れ、生活のよりどころとしている福音にほかなりません。どんな言葉でわたしが福音を告げ知らせたか、しっかり覚えていれば、あなたがたはこの福音によって救われます。さもないと、あなたがたが信じたこと自体が、無駄になってしまうでしょう。》

最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。次いで、五百人以上もの兄弟たちに同時に現れました。そのうちの何人かは既に眠りについたにしろ、大部分は今なお生き残っています。次いで、ヤコブに現れ、その後すべての使徒に現れ、そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました。《わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもいちばん小さな者であり、使徒と呼ばれる値打ちのない者です。神の恵みによって今日のわたしがあるのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵みなのです。とにかく、》わたしにしても彼らにしても、このように宣べ伝えているのですし、あなたがたはこのように信じたのでした。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。
私のあとに従いなさい。人を捕らえる漁師にしよう。
アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ルカによる福音（ルカ５・１―11）

イエスがゲネサレト湖畔に立っておられると、神の言葉を聞こうとして、群衆がその周りに押し寄せて来た。イエスは、二そうの舟が岸にあるのを御覧になった。漁師たちは、舟から上がって網を洗っていた。そこでイエスは、そのうちの一そうであるシモンの持ち舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして、腰を下ろして舟から群衆に教え始められた。話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましょう」と答えた。そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった。そこで、もう一そうの舟にいる仲間に合図して、来て手を貸してくれるように頼んだ。彼らは来て、

二そうの舟を魚でいっぱいにしたので、舟は沈みそうになった。これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言った。とれた魚にシモンも一緒にいた者も皆驚いたからである。シモンの仲間、ゼベダイの子のヤコブもヨハネも同様だった。すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。

信仰宣言

共同祈願

司・神がご自分の救いのご計画に協力する男子・女子を絶えず招いてくださるように祈りましょう

1・教会は救いと慈しみの人になるよう求められています。それ故に困難を恐れずに、世の荒波に挑戦できますように、主に祈りましょう。

全・あなたの民の願いを聞き入れて下さい。

2・教会内で責任ある立場にある人々が、デジタルメディアの広大な社会の中での動きに注意を払いながら、要理教育においてより効果的にシノドスの精神に導かれることが出来ます様に。（全）

3・国や、地域の治世者たちが、福祉を保証し、人びとの間の平和を促進し、献身的で寛大にその任務を果たすことが出来ます様に。（全）

4・私たちの共同体が信仰をもって、主イエスの招きを受け入れ、人びとの困難の中でイエスの慈しみと憐れみを証しすることが出来ますように、主に祈りましょう。（全）

司・主よ、あなたの呼びかけに耳を傾け、喜んで応えられるよう、私達を愛と勇気で満たしてください。主キリストによって。全・アーメン

奉納祈願　万物を治められる神よ、わたしたちに、日々の糧として与えられるパンとぶどう酒が、永遠のいのちをもたらす秘跡となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願　いのちの源である父よ、一つのパン、一つの杯にあずかったわたしたちがキリストのうちに結ばれ、救いの喜びを世に伝えるものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。